

To Read Data

データからわかる岐阜の国保

特定健康診査の検査項目の分析

今号では、市町村国保における特定健康診査の検査項目について分析を行います。

各検査項目の経年比較

平成26年度から平成28年度における特定健康診査の検査項目（BMI、腹囲、血圧、中性脂肪、HDL-C、LDL-C、空腹時血糖、HbA1c）の有所見率を経年で比較しました。

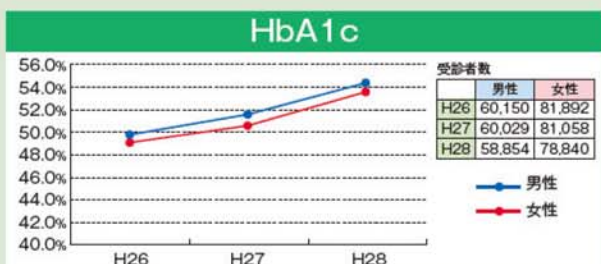
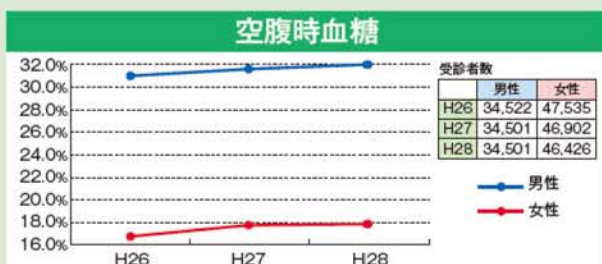
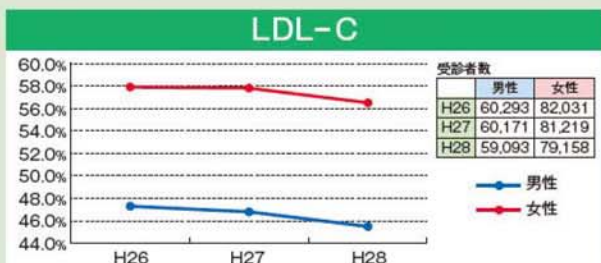
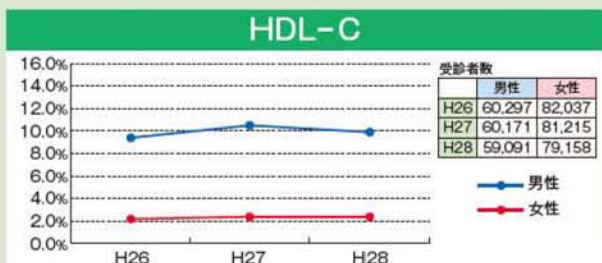
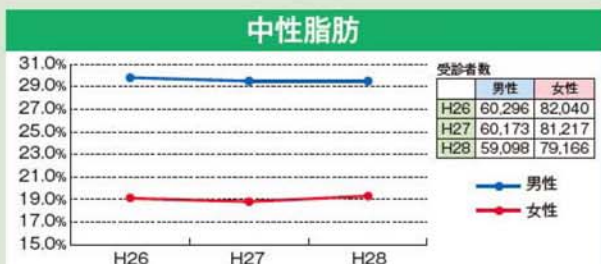
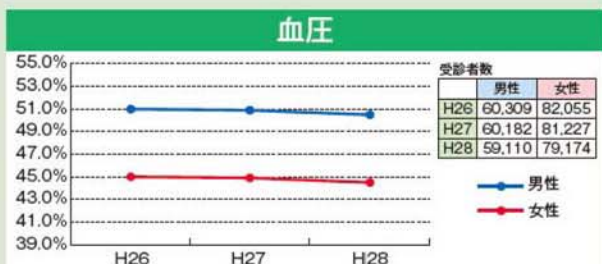
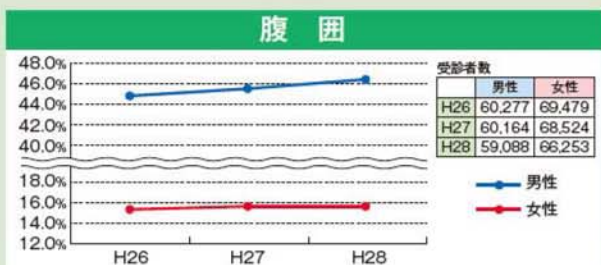
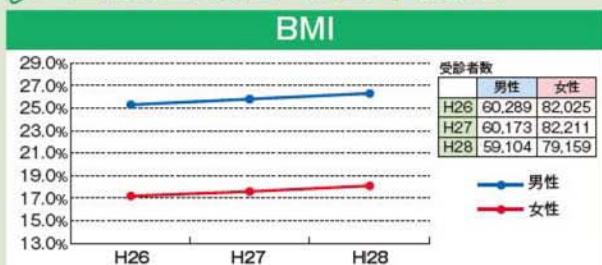
なお、有所見条件は以下のとおりです。

※健康情報データベースシステムより抽出

項目	有所見条件
BMI	≥25
腹囲	男性≥85cm、女性≥90cm
血圧	収縮期血圧≥130mmHg または 拡張期血圧≥85mmHg
中性脂肪	≥150mg/dl
HDL-C	<40mg/dl
LDL-C	≥120mg/dl
HbA1c	≥5.6%



各検査項目の経年変化



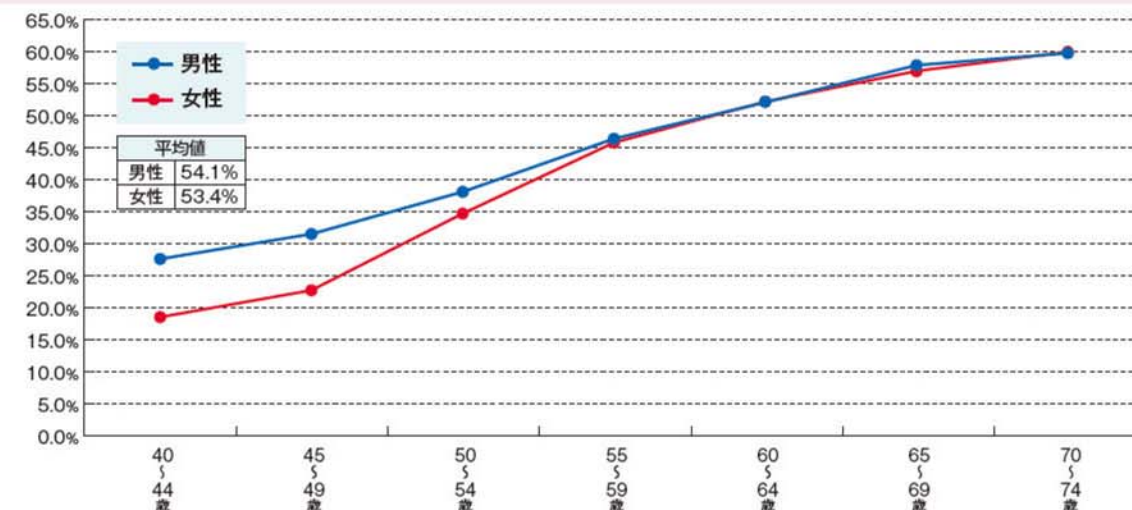
Read Data

HbA1cの有所見率の対前年比が高い

平成28年度のHbA1cの対前年比（男性105.3%、女性105.8%）が高い一方で、LDL-C（男性97.2%、女性97.8%）、血圧（男性99.2%、99.1%）は減少しています。

▶平成28年度HbA1cの性・年齢階層別有所見率

HbA1cの有所見率を男女別、年齢階層別に表示しました。



Read Data

男女とも60歳以上で有所見率50%を超える

男女とも年齢と共に有所見率は増加していき、60歳以上の階層において有所見率は50%を超えています。

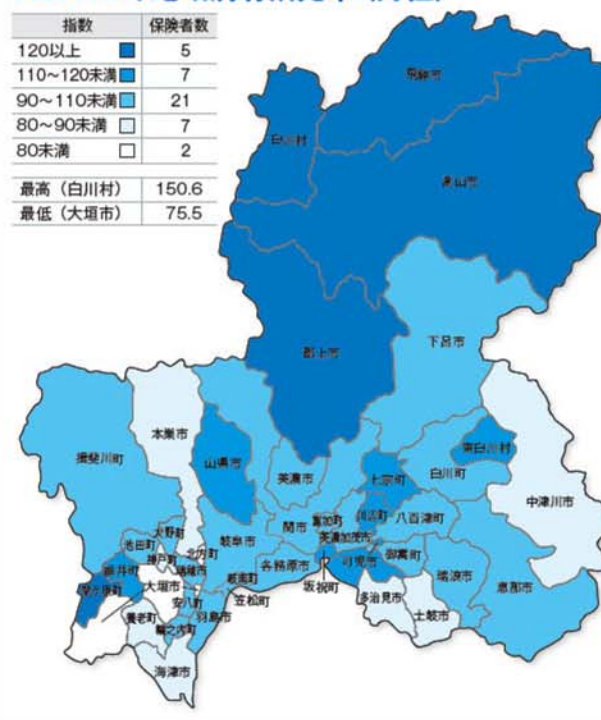
また、男女とも50歳前後で有所見率の伸び率が大きくなっていることから、40歳代の健診実施率向上と早期からの予防的な働きかけ（保健事業）が重要です。

▶HbA1c有所見率の標準化比マップ

平成28年度の年齢補正をしたHbA1cの有所見率の対岐阜県比について、岐阜県マップで表示しました。

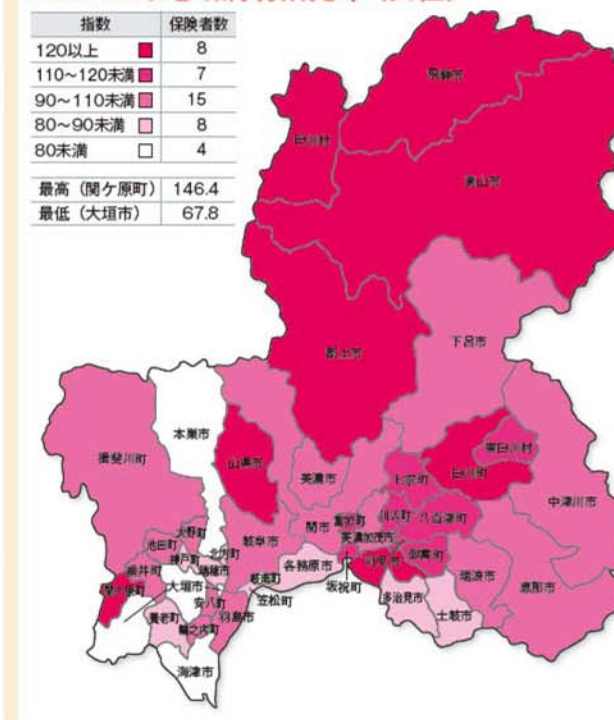
HbA1cの地域別有所見率（男性）

指数	保険者数
120以上	5
110~120未満	7
90~110未満	21
80~90未満	7
80未満	2
最高（白川村）	150.6
最低（大垣市）	75.5



HbA1cの地域別有所見率（女性）

指数	保険者数
120以上	8
110~120未満	7
90~110未満	15
80~90未満	8
80未満	4
最高（関ヶ原町）	146.4
最低（大垣市）	67.8



Read Data

HbA1cの有所見率には地域性が見られる

男女とも似た傾向が見られ、飛騨地区において比較的高くなっています。男性で一番高い保険者は白川村で150.6、一番低い保険者は大垣市で75.5、女性では一番高い保険者は関ヶ原町で146.4、一番低い保険者は大垣市で67.8となっており、2倍程度の差があります。今後、生活習慣などの地域特性を確認し、対策の検討につなげることが重要です。